



2019年2月23日(土) 11:00 南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

今回のレクチャーは、「南葵音楽文庫紀要」第2号(2019年3月刊)に詳述した内容に関連しています。後日に「紀要」も参照ください。

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel. 073-436-9500

- 南葵音楽文庫(旧収蔵)形成
- 1) 頼貞個人購入 南葵発注
 - 2) 個人コレクション購入
 - 3) 受贈(多くは頼貞個人へ)
- 個人>組織

書き込みや注記を、書物の「汚れ」や「穢れ」としてではなく、その書物の「個性」として見直し、そこから受容動向や各時代が見いだした価値が何かを探究する方向へとつながった。このとき重要になるのが、来歴と註釈者の同定、またその内容である。

(中略)

蒐集者が、集めた資料にこれほどまで広く深く関与している音楽コレクションは、ほとんど類例がない。カミングス文庫が手沢本の宝庫である点は、実は90年も前に報じられてはいた¹。世界で、おそらく南葵音楽文庫に最もまとまって残っているカミングス旧蔵資料群は、まずインキュナブラやパーセル資料などその稀覯性により、次に装幀等の書誌学的な見地から、さらに手沢本の鉅脈としてそれぞれ特別な意味意義がある。著名な音楽資料コレクションが、あらかた散逸していった事実を顧みるにつけ、南葵につたわったカミングス文庫の価値に、あらためて震撼せざるをえない。

(『南葵音楽文庫紀要』第2号より)

1915 (大正4) 南葵文庫
文・郵便が修館内に設置した
私設図書館

1920 (大正9) 南葵楽堂
和歌山県立音楽堂
開館(1918)後、半地下の
図書室で資料整理

1925 (大正14) 旧南葵文庫事務所
大正14年の音楽資料を収め、整理された

1930 (昭和5) 南葵音楽図書館閉館(1932)
「南葵音楽図書館目録1(音楽学)」(1929)
本文372ページ

1967 南葵音楽文庫
「特別公開一南葵音楽文庫」

1970~1977 仮公開(日本近代文学館)

頼貞が欧米滞在中に購入
紀州徳川家への寄贈
欧米への発注を本格化

カミングス文庫の購入

フリートレンドーの
蔵書の一部を受入れ

小山作之助の所蔵資料受入れ

ホルマン文庫の受入れ

南葵文庫音楽部
南葵楽堂図書部
南葵音楽図書館

南葵音楽文庫

参照資料 ヘンデル オラトリオ《メサイア》 Novello 版スコア 4N/2
(W.H.カミングス自身が同曲を指揮する際に使用した楽譜)

サン=サーンス チェロ協奏曲第1番 総譜パート譜 ホルマン文庫

手沢の現れかた：書き込み(訂正、修正、加筆、注釈、別解、補充、出典、反論、自説・・・)、添付・貼付、差込・綴込、切り取り・はぎ取り、装幀・合本、留意点 無視・軽視、紛失、記録忘れ、情報の意味づけ、解読能力の不足など



← サン=サーンス チェロ協奏曲第1番 総譜冒頭